

読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

倉敷市立短大の学生が、地元・児島地区の特産品である真田紐を使ったリボンを作りました。記事を読み質問に答えましょう。

Q1 倉敷市立短大の学生が作ったリボンは、何をモチーフにしていますか。第1段落、見出しを参考に答えましょう。

Q2 学生たちはリボンを販売した売り上げを、どんな目的のために寄付する予定ですか。

Q3 学生たちはリボンに添えた台紙に平和を祈る言葉を載せています。ロシアの軍事侵攻で苦しい思いをしている人たちに、皆さんならどんなメッセージを送りたいですか。考えてみましょう。

倉敷市立短大(同市児島稗田町)の学生有志が、ロシアによる軍事侵攻を受けているウクライナの国旗をモチーフに、児島地区の伝統産品・真田紐を使ったリボンを作

った。10日に早島町のコンサート会場で250個を販売する。売り上げは市を通じて寄付する予定で、同国の難民支援に充ててもらう。(池葉須則夫)

倉敷市立短大生がリボン制作



リボンをPRする倉敷市立短大の学生有志

5月の学生総会で取り組みを決め、織物メーカーの坂本織物(同市児島)の協力を求めた。素材として真田紐(唐琴)に真田紐作りの協

あす早島のコンサートで販売 支援へ売り上げ寄付



カワセミの絵やメッセージ入りの台紙を添えて販売するリボン

の箱紐として使われる高約30人が放課後などを活用して取り組んだ。1個800円。6月5日、同社の坂本早苗専務が考案したデザイン。裏側にはピンを取り付け、衣服やバッグなどに留めて、同国への支援の「ゆるびの舎」(早島町)で2500個を売る。学生会長の内祐加は、市鳥・カワセミと平和な日常が、あたりまえの生活が戻ってきますように。リボンに添える台紙に「平和を祈る言葉」との願いも印刷。リボンを結んで袋詰めすと話している。

真田紐でウクライナ国旗

9日付山陽新聞、おからプラス

過去の問題は
こちらから▶▶

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。